

2015年度の大学基金投資利益率平均は、前年度を大きく下回る2.4%（1月27日）

米国大学実務者協会(National Association of College and University Business Officers:NACUBO)は1月27日、NACUBOとコモンファンド社(Commonfund)が共同で実施する年次調査「2015年NACUBO・コモンファンド大学基金調査(2015 NACUBO-Commonfund Study of Endowments:NCSE)」において、米国大学812校から得られたデータの集計結果を発表した。本調査に参加した大学812校の基金総額は5,290億ドルで、平均6億5,150万ドルであったが、参加大学の半数以上の大学基金は1億1,500万ドル未満であった。発表されたデータによると、本調査に参加した大学の2015年度の大学基金投資利益率は平均2.4%で、2014年度の15.5%を大きく下回ることが明らかにされた。これは、2012年度の利益率マイナス0.3%に次いで低い利益率となっている。その一方で、同調査参加大学の78%は、大学基金からの支出を増額したと回答しており、支出増加率中央値は8.8%であった。その他の主要なデータ集計結果は以下の通り。

- ・利益率が最も高かった投資は国内株式で6.4%（2014年度は22.8%）
- ・長期的利益率は、10年の利益率が6.3%（2014年度は7.1%）、5年が9.8%（同11.7%）
- ・参加大学の資産配分は、2014年度とほぼ同様
- ・参加大学812校のうち、長期的負債があると回答した大学は610校で、2015年6月30日の時点での平均負債額は2億1,910万ドル、中央値は5,820万ドルで、いずれも2014年度の2億1,750万ドル、5,520万ドルから僅かに増加

なお、本調査結果のデータは、

<http://www.nacubo.org/Research/NACUBO-Commonfund_Study_of_Endowments/Public_NCSE_Tables.html>からダウンロード可能。

National Association of College and University Business Officers, Educational Endowments' Investment Returns Decline Sharply to 2.4% in FY2015; 10-Year Returns Fall to 6.3%
<http://www.nacubo.org/Documents/2015%20NCSE%20Press%20Release%20%20FINAL.pdf>